

第3回流山市環境審議会 議事録

平成26年2月10日(月) 13時30分開会 15時20分閉会

出席委員

新保國弘会長、赤坂郁美副会長、吉永明弘部会長、和田登志子副部会長、秋元五郎委員、
足原英二委員、金森有子委員、朽津和幸委員、宮原久子委員

※中大路早智江委員、和田まつゑ委員、矢野光明委員は欠席

事務局

飯泉環境部長、南雲環境部次長兼クリーン推進課長、染谷環境政策課長
斉藤環境政策課長補佐、遠藤副主査

リジョナル・プランニング・チーム(コンサルタント)1名

1. アンケート集計結果概要等説明(コンサルタントによる説明)
2. 策定部会の審議経過について(部会長による説明)
3. 次回審議会日程について

委員からの意見等

発言者	要旨
委員	流山市のごみ排出量の原単位を東葛地域で比較しているなかで、柏市や松戸市よりも量が多くなっているのは、意識が低いと考えてよいものか。
事務局	ごみの排出量について、市によって品目の取り扱いが異なっていることで、この差が出ていることも考えられる。流山市で発生量ということで全てを含めているが、市によっては資源化分を除いている場合もある。そのことに配慮いただければと思う。
会長	母集団からの抽出対象が異なる場合、有意差検定をしてはいけないと思う。公表、非公表に関わらず算出根拠となっている条件等を確認した方が良い。
コンサル	数値、順位ともに、千葉県統計年鑑から引用しており、公式に発表されているものである。県は各市町村から情報を集めているのだが、各市町村が扱う品目に違いがある場合も考えられる。
会長	公表、非公表に関わらず、数値には読み方の注意(いわゆる凡例)も付記した方が良い。また、ゴミについては東北大震災前後で扱いが異なるだけでなく、市町村差もあるやに聞いているので注意が必要。
委員	リサイクル率でも我孫子が突出している。何か特別なことをしているという情報はあるか。流山市のリサイクルには何が含まれるのか。
事務局	我孫子については把握していない。調べて報告する。市のリサイクル対象は、プラスチック、ペットボトル、金属類、剪定枝(現在は除外)などである。
委員	東葛地域の各市は、剪定枝をリサイクルに含めているのか。
事務局	2010年度の比較で、東日本大震災より前の時点なので、含めていると思われる。

委員	市町村のごみ量の比較では、皆さんが想像している生活系に加え、事業系ごみも一般廃棄物の扱いになっているので、事業系一般廃棄物の状況によっても違いがでる。流山市民のごみが多いとはいえないかもしれない。
会長	資料 2（基礎調査）の内容は、計画書に掲載するのか。表記が古い事例や、おかしい部分が見られるので、確認作業が必要である。例えば、出典元の都市マスタープランは古い、味醂製造は今は瓶詰めだけになっている、都市公園の掲載の仕方にも検討が必要など。
委員	商業集積に南流山駅周辺が入っていないのは、現状にあわないと思う。
事務局	不適切な部分は修正する。計画書への掲載方法は未定である。この資料は、計画を検討していくにあたって、基礎的な情報を提供するものである。今後、計画書に掲載する内容についても、皆様からご意見を頂きながら決めていきたい。
委員	流山市では、エアコンの温度設定をどのようにしているのか。
事務局	環境省が推奨している冷房は 28 度以上、暖房は 20 度以下と定めている。
委員	生物多様性ながれやま戦略の拠点について、「知らない」という回答が多いのが気になる。市域の自然環境について、市ではどのように広報をしているのか。今後どう扱うなどの考えを公表しているか。またしていく気はあるのか。
事務局	生物多様性ながれやま戦略の策定以降、様々な機会を通じて広報に努めている。現在、重点地域でのモニタリングを行っており、来年度はモニタリング調査報告書の作成や重点地区でのウォーキングイベントの開催を予定している。生物多様性流山戦略について、市民に知って頂く機会、知らせる機会を検討している。ホームページでの情報提供、グリーンフェスティバルでのイベントなども行っている。今後、地図検索など、もっとわかりやすい方法についても考えていく必要がある。ただし、情報提供にあたっては、私有地や希少種への影響も考慮する必要がある。
委員	アンケート結果から、現状と希望という形で、市民の意識をまとめることができる。それらを見ながら、市として市民のためにどうやって何に取り組んでいくのかと、市民が自ら取り組むことによって希望をかなえることの両面について、計画に盛り込んでいくのが一番と思う。
事務局	市が全てに対処するというわけにはいかず、市民の力をいただいて進める部分が多くある。そのことに留意して、計画を策定していきたい。
委員	策定作業で、市民の意見を求めることはあるのか。
事務局	パブリックコメントを行う予定である。また、計画策定を知ってもらうことも重要で、広報紙への掲載や、毎年 5 月におおたかの森駅で開催するグリーンフェスティバルでの周知活動などを考えている。
委員	回答者の属性をみると、流山市の人口構成よりも高齢者の比率が高いように思う。長く住んで興味を強く持ち、市のことを真摯に思っている人の回答率が高まったのではないかと。例えば、ごみが減ったとした人が 4 分の 1 もいるのにはそのことが表れているが、新しい住民と意識に差があると思う。実際のごみ量ともいっしょに公表していただきたい。また、これだけのアンケートに答えるのは大変なのに、自由意見も含めてよく回答していると思

	う。自由意見の言葉をみると、人によって使い方が違っている。例えば自然環境や森といっても、昔からある林であったり、公園の木であったりする。そのあたりは、きちんとした判断が求められる。ごみについても色々な解釈があるようなので、国の大きな方針として求められている等、分別の理由なども伝えていくべきである。
事務局	PR の仕方について、年代等によって有効な方法があると思うので、配慮していきたい。自由意見では、分析を誤ると間違った対応をすることになる。慎重な扱いをすべきと考える。
事務局	一般廃棄物処理基本計画について、5 年目の中間見直しを始めて、先週の廃棄物対策審議会に諮問を行った。本アンケートを活用し、ごみについては一般廃棄物処理基本計画の見直し作業に反映していきたいと考えている。
会長	12 頁の自然環境で残したいところについて、市野谷が最も多いことの背景があるはずなので、回答者の自由意見を分析できないか。また、昔から住んでいる人がどう感じているのか、知りたい。利根運河と新川耕地についても同じく。
事務局	意見の抽出とクロス集計をして、報告する。
委員	自由意見の 63、67、73 など、あの周辺をよくわかっている人の回答と思う。
委員	緑や公園を多くして自然を減らさないでという意見は、自由意見によく反映されていると思う。ごみを減らす、リサイクルというのは、取組状況にでている。安心安全の部分では、公害がない将来というところにあらわれている。地球温暖化についてはよくわからないけれども必要といったところで、省エネや再生可能エネルギーなどへの関心が認められる。この 5 点を大きくおさえて、策定に盛り込んでいかななくてはと考える。
委員	資料 3 の部会議事録に、市野谷の県立公園についての記載があるが。
事務局	ある程度、県立公園となるという話だが、全部なるかは不確定。現状で買収が済んでいるのは私有地の 1/3 と聞いている。近くの看板におおよその構想が示されている。
事務局	市長は、県に対して要望を行っている。
委員	自分は市民ではないが、外からみて、グリーンチェーン戦略など開発と緑の両立を目指しているのが素晴らしいと思う。そのことをもっと知らせたらよいと思う。環境基本計画の重点を、このアンケートから検討していくことが必要と思う。資料 2（基礎調査）について、どう活用したらよいかがまだわからない。
事務局	行政の計画書には市の概要、特性を記載するケースが多いので、そのための情報整理でもある。
委員	県や東葛地域との比較はわかりやすい。議員数などもあるといいのでは。
会長	環境基本計画なので、そこまでの情報はあわないと思われる。他市との比較は、委員の勉強にはよいが、誤解を受けないよう裏付けに注意する必要がある。
事務局	そのとおりで、数値の公表には私どもが気をつけないといけない。この資料は、あくまで審議会のための確認資料である。
委員	緑被率とは何を意味するのか。
事務局	市域における、樹林地や農地、水面等の緑の面積の比率である。
委員	市民レベルからは、ごみを減らすなどの要望が多くあり、その場合に、近隣の町はどうな

	っているかなど、こういった数値が気になってくる。正しく理解できることが必要である。
事務局	環境基本計画の行動計画のひとつが、一般廃棄物処理基本計画である。今回の中間見直しにおいて、ごみ削減目標の再算定などを行うので、廃棄物対策審議会に本アンケート等の活用を求めていく。
委員	数字についても市内のみの経年変化はきちんと押さえていると思う。ゴミ減量についても廃棄物対策審議会とも数値的なものも含め情報交換したい。
事務局	環境基本計画の行動計画のひとつが、一般廃棄物処理基本計画である。今回の中間見直しにおいて、ごみ削減目標の再算定などを行うので、廃棄物対策審議会に本アンケート等の提供を行う。
会長	これまでの議論をまとめたい。アンケート結果について、環境基本計画に反映させることを第一義とされたい。アンケートの活用については、計画策定とは別のところで、可能な限り実施されたい。この2点でよろしいか。
(全員)	(異議なし)
会長	議案1、2について、承認する。続いて、議案3について、事務局の説明を求める。
事務局	(次回、第4回流山市環境審議会の日程案を説明)
(全員)	(第4回流山市環境審議会を、3月31日15時から開催することで合意)
閉会	